

陳 情 文 書 表

| | |
|--|---|
| <p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p> | <p>陳情第91号（6．9．4） 明石川の有機フッ素化合物P F A Sの汚染対策及び撤去等を求める陳情</p> |
| <p>陳 情 の 要 旨</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸市による水質検査、土壌検査により汚染源を明らかにすること。そして撤去すること。 2. 神戸市内の明石川周辺の農産物、海産物のP F A S汚染の調査をすること。 3. 神戸市の地域住民の血液検査を市民検診として行うこと。 4. 国に対し、水道水、河川等の規制値の強化、工場、産業廃棄物処理場の排水規制、汚染源撤去に伴い事業者または自治体に発生する費用の負担などを求めること。 |
| <p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p> | <p>神戸市北区 P F A S汚染と健康を考える連絡会 共同代表 小橋 かおる ほか3名 その他署名者あり(申告数2, 237筆)</p> |
| <p>送 付 委 員 会</p> | <p>福祉環境委員会</p> |

2024年9月4日

神戸市会議長 坊 やすなが様

明石川の有機フッ素化合物 PFAS の汚染対策及び撤去等を求める陳情書

陳情趣旨

いつも市民のより良い暮らしのためご尽力下さりありがとうございます。

日本全国に PFAS 汚染が広がっています。国は全国 1 万 2 千ヶ所で PFAS 調査を実施し、9 月末までに汚染の実態を確認しようとしています。

有機フッ素化合物 PFAS とはどんなものか？ 1938 年、米国デュポンの研究所で偶然に発見され、熱、水、油をはじく性質から、原子爆弾の配管に利用され、第二次大戦後は使いやすく安価なテフロン (PFOA) として世界中の台所で使われ、その後スコッチガードや泡消火剤 (PFOS) として使われました。今では半導体製造用途、撥水揮発剤、界面活性剤、金属メッキ処理剤、殺虫剤、医療器具等、様々な用品のコーティング剤として、私たちの日々の暮らしの中では防水防汚のために、フライパン、食品包装、雨具、家具、化粧品、スマートフォンのコーティング、人工芝等に、1 万種以上の PFAS が使用されています。

この 70 数年の間に、便利に使われてきた PFAS は、工場から、産廃処理場から、下水処理場から、米軍基地や自衛隊基地、また民間空港から排出され、水中や土壌に蓄積され続けています。汚染された水は移動し、地球の隅々まで汚染します。

飲み水や食べ物、ちりやほこりなど、人が口や皮膚から PFAS を体内に取り込むと、排出されにくく蓄積します。そして、発がんリスクを上げ、ホルモンの働きを妨げ、免疫機能を低下させ、胎児の発育を妨げるなど様々な健康被害をもたらす可能性があります。

そのため、欧米ではいよいよ PFAS 廃止に向けて動いています。WHO の IARC は PFOA を「発がん性がある」と認め、PFOS は「発がん性の可能性がある」としています。

日本は残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 (POPs 条約) に加盟していますので、2009 年は PFOS、2020 年には PFOA の製造、輸入および使用を原則禁止していて、その代替品として使われてきた PFHxS も 2024 年 6 月より禁止となっています。

そして、飲み水に関しては厚労省、環境省が 2020 年 4 月 1 日より水質管理暫定目標値として、PFOS と PFOA の合計が 50ng/L 以下と設定しました。その時、全国的な調査が行われ、明石川流域の押部谷町の水路から 410ng/L という高い値が出ました。明石市は活性炭で浄化し、井戸水と混ぜることで水道水を暫定目標値以内に収め、それで安心としてきました。

しかし、2023 年 7 月 8 日に明石市民 9 人の血液検査をしたところ、そのうち 6 人がドイツの基準では健康へのリスクが高くなり、緊急に曝露対策を取る必要がある値でした。明石川からの給水量が多い地域、浄水器を付けていない家庭に PFAS 血中濃度が高い傾向が見られ、専門家である京大名誉教授の小泉昭夫氏は水道水が疑われると指摘し、丸尾まき兵庫県議員は 10 月に明石川流域 25 カ所の水質検査を行いました。その結果、13 カ所から暫定指針値の 50ng/L を超える値が見られ、産業廃棄物処分場の排水から 10 万 ng/L というとても高い値が出ました。その隣の処分場の排水も 210ng/L と高い値が出ました。さらに明石川の支流でも 70ng/L を超える値が出て、その上流にも産業廃棄物最終処分場があり、汚染源となっていると思われ、丸尾議員は神戸市に対し、再度の水質検査と汚染対策を要請したのでした。

神戸市は、明石川流域の事業者には排水の監視や PFAS の低減措置などを呼びかけているとのことですが、今年 4 月の丸尾議員の調査の結果、10 万 ng/L の値は 4700ng/L に低減したものの、210ng/L は 260ng/L に増加していて、支流の 70ng/L も 280ng/L に増加していました。また神戸市の発表によると、平野橋では、2023 年度最高値が 340ng/L であったものが、2024 年 5 月の測定では、1000ng/L となっています。やはり国の規制値という力が働かなければ、PFAS の低減達成は難しいのではないのでしょうか。

神戸市民、明石市民だけでなく、兵庫県民、近隣府県民の健康を考え、
さらに積極的な取り組みを願う市民の方々の署名簿を添えて、
私たちは以下のことを要請します。

陳情

陳情事項

神戸市による

- 水質検査、土壌検査により汚染源を明らかにしてください。そして撤去してください。

産廃処分業者と協力し処分場内の土壌調査を行い、汚染源、汚染の流れを特定し、
速やかにその撤去作業を行ってください。

神戸市内の

- 明石川周辺の農産物、海産物の PFAS 汚染の調査をしてください。

神戸市の

- 地域住民の血液検査を市民検診として行ってください。

- 国に対し、水道水、河川等の規制値の強化、工場、産業廃棄物処分場の排水規制、
汚染源撤去費用の負担などを求めてください。

に伴い発生する

事業者 あるいは自治体に

PFAS 汚染と健康を考える兵庫連絡会

共同代表 ^{代表} 小橋かおる

神戸市北区

宮崎恵

神戸市東灘区

横山恵子

神戸市東灘区

横山節子

神戸市須磨区

署名提出あり: 申告数 2,237 筆